

# 道の歴史

生活に欠かすことのできない道。昔はとても不便でどこへ行くにも大変な苦勞をしていました。ここでは、厚別の「道」の歴史を振り返ります。



1896  
明治29年



当時の大きな道は国道12号と国道274号(一部)、停車場。あとはけもの道。鉄道もありましたが、運賃が高くあまり利用されていなかったそうです。



## 雪が降ると孤島

雪が降ると道はなくなり、歩くこともできなかったそうです。



1921  
大正10年



国道12号が鉄道の南に切り替わり、少しずつですが人口も増え、生活道路が増えていきます。



## 国道12号

雨が降ると泥道となり、げたでは歩けないほどのひどい道でした。



国道12号/1920年ころ

1950  
昭和25年



1926年(大正15年)に旧千歳線ができ、1953年(昭和28年)には市営バスが運行を開始しました。道路の舗装が始まったのもこのころです。



## ホコリ街道

当時の国道12号は、道幅も狭く砂利道で坂が多かったそうです。また砂ぼこりがひどかったため、ホコリ街道と呼ばれていたそうです。



北海道新聞/1958年8月29日

1975  
昭和50年



1973年(昭和48年)に現在の千歳線が完成し、1974年(昭和49年)に南郷通と白石サイクリングロードが開通。住宅地として発展し、道も急速に増えていきました。



## 南郷通開通

1974年(昭和49年)、南郷通の開通式が行われました。当時は、菊水歩道橋からもみじ台までの一部区間を除いた9.53kmが完成し、開通式をむかえました。



南郷通開通式/1974年

2007  
平成19年

約110年でこんなにも道は進化したんじゃ!



すご〜い!!



1979年(昭和54年)に道央自動車道が開通し、1982年(昭和57年)には地下鉄東西線が新さっぽろまで延びるなど、街の発展とともに道は増え、便利になりました。

